

わ

が

街

わ

が

故

郷

(株)東振テクニカルと石川県小松市

まえがき

東振精機とその立地する石川県能美市については、すでに2回このコーナーで紹介させていただき、“小さい街ゆえにネタ切れです”と事務局にお断りして安心しきっていたところに、何と規制緩和により関連企業の取り上げも可能となったとのお達しをいただき、逃げ切れずに、今回は、ベアリング組込用ころの専門メーカーである株式会社東振精機の子会社である株式会社東振テクニカルが立地する石川県小松市を紹介させていただくこととなりました。

東振テクニカルの紹介

東振テクニカルは、石川県西南部に広がる豊かな米どころ加賀平野の中央にある小松市の東部に立地しております。

当社は、1971年に東振精機のテクニカルサービス部門として、ローラを製造するために必要



社屋外観

となる治工具類の製造、設備の修理やメンテナンスを主な業務として、東振精機の本社工場（能美市寺井町）内に設立されました。

その後、東振精機の拡張に合わせて、業務内容も、使用設備のオーバーホール、中古機械の改造、設備のNC化等の機能付加など順次拡大していき、技術的な土台を固めていきました。こうした技術的蓄積を背景に、東振精機のローラの精度向上とコスト対応要請が相俟って、ローラ加工設備の内製化を当社が担うことになったものです。最初に内製化に取り組んだ工作機械が、東振精機で使用している設備の中で使用台数が一番多い心なし研削盤であり、1982年11月に“TO-20”の1号機をデビューさせ、国内最後発の心なし研削盤メーカーとなりました。

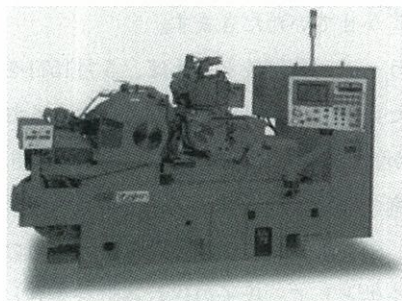
1991年に心なし研削盤の本格的な外販へ乗り出すため新工場建設を計画し、能美市と隣市である小松市が岩盤台地を造成した工業団地が工作機械製造に適地と判断し、岩盤基盤の上に工場上屋を載せられる区画に本社工場を建設移転しました。

工場建設にあたってのコンセプトである“精度の高い機械を作るためにふさわしい環境づくり”のため、基礎と空調設備を重視し、工場全体を『ねじれ』から守るために、コンクリート2m分に相当する岩盤の上に、さらに600mmのコ

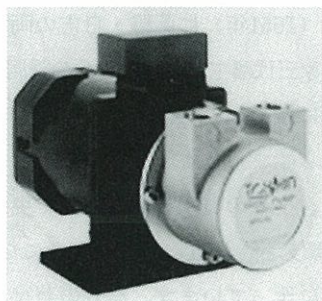
ンクリートを打ち、工場全体が機械基礎として建設したほか、気温変化による部品や機械の寸法変化を防ぐために、空調設備は自動温度設定システムを内蔵しており、床上4mまでの範囲を設定温度±1℃内にコントロールしています。



工場内観



心なし研削盤TO-60シリーズ



ベーンポンプ

現在当社が手がけている製品類は、心なし研削盤のほか、端面研削盤、超仕上げ盤などローラ製造設備の仕上加工工程設備全般と、社内ベンチャーで製品化した小型、静音、無液洩のベ

ーンポンプです。心なし研削盤は主に自動車部品メーカー様やベアリングメーカー様に、ベーンポンプは医療機器メーカー様や半導体製造装置メーカー様にご利用いただいております。

小松市の紹介

小松市は、石川県西南部に広がる豊かな加賀平野の中央にあって、建設機械メーカーであるコマツをはじめとする機械と繊維に代表される産業都市として発展し、面積371平方キロ、人口11万人を抱える、石川県内では金沢市に次ぐ一つの都市圏を形成しています。東には、霊峰白山がそびえ、そのすそ野には緑の丘陵地、そして、田園、平野が広がっています。それを縫うように^{かはしがわ}梯川が流れ、西へ豊饒の安宅の海に注いでいます。

また、交通の要所として、弁慶義経で有名な安宅の関近くには日本海側最大の、航空自衛隊との共用空港である小松空港を有しているほか、北陸自動車道、国道8号、小松バイパス、加賀産業開発道路、JR北陸線が南北に走っており、日本海側の物流・人流を支えています。

歴史

この地域は、弥生時代中期にはすでに農耕が行われ、その後は能登・加賀からなる石川県の加賀地域の中心として、加賀国の国府（当社所在の小松市国府台もここからきています）や国分寺が置かれるなど、金沢市よりかなり以前から開かれた地域でした。戦国時代は、加賀一向一揆衆と織田信長勢との戦いの前線地帯であり、一向一揆の平定の後に信長が前田利家を派遣して、一向一揆衆が築城した尾山御坊に入城後に造られたのが金沢です。前田家が、この肥沃な加賀平野を背景に、加賀・金沢・能登・富山県高岡に及ぶ百万石を超える一大勢力圏を形成したのはご存知のとおりです。

産業

産業面では工業都市としての色合いが濃く、中でも機械工業および繊維工業が盛んです。明治から昭和にかけて小松市尾小屋鉱山で銅の採掘が隆盛であり、その鉱山機械の関連から派生した機械産業では、建設機械のシェア世界第2位の小松製作所（コマツ）の発祥の地であり、その協力企業を合わせて、いわゆる企業城下町となっており、日本有数の機械工業の産業集積地域を形成しています。このほか、パーティションの国内2大メーカーであるコマニーと小松ウオール工業など特色のある事業所が立地しています。繊維業も盛んで、染色大手の小松精練や、帝人、東レなどの事業所があり、その関連企業が無数にあります。

また、伝統産業としては、イグサの生産の北限であり、そのイグサを使用した畳は「小松表」の名で知られており、加賀絹や九谷焼などの伝統工芸の産地としても有名です。

観光

工業・空港の町と言われています小松市ですが、名所旧跡も多く存在しています。ここでいくつか紹介しましょう。

北國街道

市中心部から加賀市動橋^{いぶりぼし}までの旧北國街道沿いには、約10kmにわたって往事を偲ばせる町並みが比較的によく残っています。特に梯川から駅前までの間は、1km以上にわたり町屋作りの建物が軒を並べています。この規模で町屋作りが見られるのは全国でもほとんど例がないといわれています。また、市役所周辺は、旧小松城の城下町風情が広範囲にわたって残っています。市中にはうだつのある家屋や蔵が多く、趣のある町並みを形成しています。ただ、市民の認識は今ひとつで、金沢市のような歴史的街並み保存には積極的でないところが残念です。



旧北國街道

安宅の関とお旅祭り

弁慶・義経と関守富樫で有名な歌舞伎の定番“勧進帳”の舞台である安宅の関とその関連の名所については東振精機の紹介（当誌2005年11月号）で取り上げさせていただきましたので今回は省かせていただきます。

もう一つ、歌舞伎といえば、5月15日を中心とした13日から16日の4日間開催されるお旅まつりが有名です。橋北の^{うはし}菟橋神社（お諏訪さん）と橋南の本折日吉神社（山王さん）の春季祭礼です。両社の^{みこし}神輿が神具や大獅子、多数の子供獅子を供として、氏子の住む各町を^{とぎよ}渡御してまわったので、お旅まつりと言われています。350年の歴史を持つこのお旅まつりは、江戸時代の慶安四年（1651年）に菟橋・日吉の両社の神輿が、前田家三代藩主の前田利常公の隠居城であった小松城に渡御し、加越能三州の泰平を祈願したことから始まります。

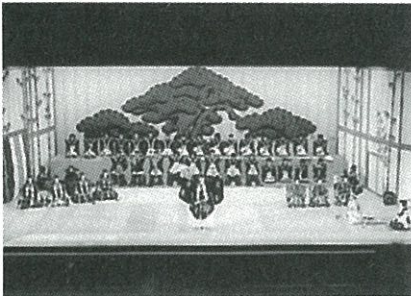
その後、小松の町衆の祭りとして^{ひきやま}曳山がつくられ、歌舞伎芝居が演じられるようになって240余年今日に至っています。祭りの華は、豪華な「曳山」を舞台として繰り広げられる子供歌舞伎で、浄瑠璃と三味線にあわせ、華麗な衣装をつけて熱演する子供達の芝居は、さながら錦絵のようです。元来、子供歌舞伎の役者は、男子がつとめることになっていたと伝えられていますが、最近では8歳～12歳の女子が演じています。



曳山八基曳揃え

1951年から8町のうち2町ずつ、曳山子供歌舞伎を上演する輪番制となりましたが、1990年からは8町の曳山が曳揃えられるようになり、祭りをいっそう盛り上げています。

また、お旅祭りの期間に“全国子供歌舞伎フェスティバルin小松”が開催され、全国から参加した子供歌舞伎が上演されます。



全国子供歌舞伎フェスティバルin小松

世界最古の名宿

市内の粟津温泉には世界最古の名宿としてギネスブック公認の“法師”という温泉旅館があります。粟津温泉は、開湯1300年とされる歴史の古い湯であり、北陸で遍く信仰された秦澄なはいちやう大師が白山権現のお告げによって発見されたと伝えられています。

山中、山代、片山津とともに加賀温泉郷の一つとして発展しましたが、バブル崩壊後は団体客の減少により旅館数も半減し、現在はグループ客や家族向けの温泉地へと再生しているところ

ろです。

その中で、旅館“法師”は、開湯とほぼ同じ歴史を誇るだけあって、開業当初から続く家系によって今も木造旅館の姿が守られており、なお健在な姿を見せています。粟津温泉以外にも、市内には多数の温泉が湧き、総湯と呼ばれる共同浴場や銭湯が町のあちこちにあり、手軽に温泉を楽しめます。



世界最古のホテル 法師

まだまだ小松市およびその周辺にはご紹介するところが多くあります。小松空港を利用されても金沢や能登へ直行されてしまうお客様が多いのですが、是非時間を見つけて小松散策を楽しまれてはいかがでしょうか。

(参考URL)

小松市：

<http://www.city.komatsu.ishikawa.jp/>

小松市観光協会：

<http://www.komatsushikankoukyoukai.com/>

粟津温泉観光協会：

<http://www.awazuonsen.com/>

旅館法師：

<http://www.ho-shi.co.jp/>

ウィキペディア：

<http://wpedia.search.goo.ne.jp/>

東振グループ：

<http://www.tohshin-inc.co.jp/>

(株式会社東振精機 中村 俊介)